

町内小中学校の情報を毎月お届けします

9月4日に、いじめ問題を考える臨時全校集会を行いました。

集会では、村井宮城県知事と羽生結弦選手のいじめ根絶のメッセージを聞きました。その後、生徒指導主任の濱田教諭が村井宮城県知事と宮城県教育委員会のメッセージを説明し、児童にいじめをなくすための取り組みなどを考えさせました。

「いじめはやめよう」「いじめを話そう」の気持ちが強まった集会になりました。



浮いて待つ〜着水泳の実施〜

5・6年生が水泳学習の最後に着水泳を行いました。これは、水難事故対応策の一つで、外国には競泳より重視しているところもあります。服を着ていると泳ぎにくいのですが、服の浮力を生かして背浮きすることは可能です。写真のように、児童はペットボトルを服の中に入れ、皆上手に浮いていました。いざというときに役立つ学習となりました。



9月3日水泳記録会を行いました。
2学期になり、天候が悪く、水泳記録会を行うことが無理かと思われましたが、記録会前にプールで泳ぐこともでき、今年の水泳を無事終えることができました。

どの学年の子どもたちもそれぞれ自分の目標に向かって一生懸命挑戦していました。水泳は、体力向上をねらうだけでなく、自分の命を守る大切な運動です。来年の水泳では、より多くの子どもたちが泳げるようになるというのを抱きました。

多くの保護者の皆さん、たくさんの方の声援ありがとうございました。



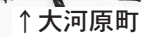
9月2日に郡中体連駅伝大会がありました。結果は男女共に第3位で昨年よりも順位を一つあげました。男子Bチームは8位、女子は7位でした。夏休み期間中、特に猛暑に見舞われた期間中に練習を積み重ね頑張った選手の皆さんに拍手を送りたいと思います。



またまた、小さな学校の大きな快挙です。金中野球部が柴田地区大会、仙南ブロック大会と6試合を勝利し、見事県大会出場を果たしました。県大会は、楽天イーグルス大衡球場において、多賀城中学校と戦いました。惜敗でした。金中の主将は、「相手チームの気持ちの強さと一人一人の意識の高さを、県の壁として感じました。そして、このステップアップした経験をいかし、さらにチームの団結力を高め新人戦に臨む」と闘志を燃やしています。今日も14人の大きなかけ声が校庭に響いています。

…人間と共生する昆虫たち…

18 「北限のチョウ」



▲ ミヤマシジミ

ミヤマシジミという小「高忠のようちゃん」こと
さな蝶がいます。オスの 高橋義寛さんです。蔵王
羽の表面が青紫色でメス 町宮や大河原町の丑越な
は茶色に橙色の紋が並ん での調査には当時中学
でいます。東北地方から 生だった私も参加してい
関東、中部地方だけにし ました。

昭和30年前後に東根市
か居ません。今回はその ミヤマシジミは絶滅し
たので、宮城県が北限と
松市が北限産地です。

現在のは福島県会津若

この蝶がかつて大河原にいました。大河原町は町にいて、日本全体の北限だった時がありまして、北限とはその蝶が分布するいちばん北の端の産地という意味です。

昭和20年代、ミヤマシジミの北限は山形県東根市でした。その後に宮城県蔵王町で発見されたのです。見つけたのは大河原昆虫同好会会長だった

昭和50年代に、白川橋や柴田農林高校近くの河原からミヤマシジミがすっかり姿を消してしまいました。

絶滅した原因は特定できていませんが、川の流

もしも今でもミヤマシジミがわが町内で生き残っていたら、全国のチヨウ愛好家にプチ自慢ができたのに…と思うと残念でなりません。

次回はサンバを踊らなくても人間の役にたっている虫を紹介します。

元金小学校長、昆虫教室（町教育委員会主催）講師
鈴木健司さん

元金小校長、昆虫教室
(町教育委員会主催)講師
鈴木健司さん